

新型コロナウイルス感染症が疑われる患者の来院・検査・診察時の対応

1. 来院時の対応

正面入口をはじめ複数の場所に、新型コロナウイルス感染症が疑われる患者様が直接病院内に入らないように注意書きを掲示する。万一、掲示物を見落として直接受付に来られたり、別症状で受診の際に感染を疑う所見が発覚しても早急に対応できるように、受付の際はまず一番に来院患者全員に問診を行う。

(1) 直接来院した場合

- ア) 受付職員は、来院時の体温が 37.0℃以上の場合、または来院患者全員に行う問診にて患者本人や同居人の体調・県外の往来歴などを確認し感染が疑われる場合、携帯番号を確認し、自家用車で来院されている場合は車での待機を、その他の移動方法で来院されている場合は専用のテントに案内し待機してもらう。
- イ) 待機中に、感染が疑われる患者用の問診にてさらに情報を確認して医師に報告する。検査・診察の可否など受けた指示を看護師に報告・相談し、検査・診察までの流れや待ち時間を電話にて患者様に伝える。

受付では、全ての来院患者様に対してアクリルのパーテーション越しに対応を行い、患者様をテントへ誘導する際は、フェイスシールド・手袋を使用して対応する。
モニターでの測定体温が 37.0℃以上の場合、体温計にて腋窩で測定を行い、使用した体温計は消毒を行う。

(2) 電話による診察依頼

- ア) 感染が疑われる患者用の問診にて情報を確認して医師に報告する。検査・診察の可否など受けた指示を看護師に報告・相談し、電話にて来院時間や検査・診察までの流れを患者様に伝える。
- イ) 来院した際には、病院駐車場へ到着したら電話をして頂くように説明し、患者本人や付添人が直接院内へ入ってこないように配慮しておく。

看護師は、現在の検査の進捗状況や担当医師の他患者の診察状況などを把握し、来院時間を設定する。
公共交通機関やタクシーでの来院は控えて頂き、自家用車以外の方法で来院される場合は、駐車場到着の連絡を受けた受付職員が、院外から専用テントへ案内する。

2. 検査時の対応

(1) 自家用車で来院の場合

電話にて、救急入口前のスペースに車で移動してもらうように説明し、ドライブスルー方式で検体を採取する。検査の進捗状況や結果判定時間、患者の状態、医師の診察状況を考慮し、検体採取後は一旦帰宅してもらうか、駐車場で待機してもらうか伝える。検査は救急部入口の風除室で、扉は開放し十分な換気のもと行う。

(2) 自家用車以外の方法で来院の場合

専用のテント内にて検体を採取して検査を行う。医師の診察がすぐに可能な場合は、陰性を確認後、救急部入口から感染疑い患者用点滴室前まで案内し待機してもらう。PCR 検査時や診察までに時間を要する場合、おおよその時間を伝えて一旦帰宅して頂く。

検体採取を行う看護師は、手袋・マスク・フェイスシールド・ガウン・キャップを着用し、患者を院内へ誘導するスタッフはフェイスシールド・手袋を着用する。

陽性時の HER-SYS 登録のため、検体採取時に非接触体温計にて前額部や頸部の体温を測定し、ビニール袋に入れたパルスオキシメーターで血中酸素飽和度と脈拍を測定する。

テント内での検査時は、換気扇とエアフィルター(感染症対策用クリーンユニット)を使用して十分に換気を行い、アルコールや環境クロスで掃除後、次の患者を入室させる。

3. 診察時の対応

検査結果や患者の状況から担当医師が、院内での診察の可否を判断し、指示に応じて診察を行う。

(1) 検査結果が陽性・または同居人に陽性者がいる場合や、軽症で診察を希望しない場合

電話での診察対応とする。

処方が出た際は、病院へ取りに来られる場合は薬剤師より電話にて処方薬の説明を受けた後に取りに来てもらい、駐車場到着の電話を病院に入れて頂き、スタッフが車まで薬を手渡しに行く。病院に取りに来ることが難しい場合は、サポート医登録を行い提携薬局に自宅に届けてもらえるように手配を行う。

(2) 検査結果が陰性の場合

陰性結果確認後、担当医師が院内での診察を許可した場合、感染疑い患者用診察室での診察となる。

結果が陰性であっても、救急部入口から他患者と接触しないように院内へ誘導し、画像検査実施時は、放射線科スタッフにも申し送りを行い、フェイスシールド・手袋を着用して対応してもらい、検査終了後は環境クロスで清掃後次の患者を入室させるよう対応する。処方薬が出た際、自家用車で来院されている患者は車で待機してもらい、薬剤師より電話で処方薬の説明後、薬剤師・もしくは看護師で車まで届け、会計を行う。車以外の方法で来院している場合は、感染疑い患者用点滴室で待機してもらい、薬剤師より処方薬の説明・お渡し、会計を行う。

感染疑い患者用診察室・感染疑い患者用点滴室には、エアフィルター(クリーンパーテンション)を設置して、換気を十分に
行い、診察終了ごとにアルコールや環境クロスで掃除を行う。